



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
URL <http://tia21.or.jp>
E-mail tia@tia21.or.jp

2006
autumn

11 No. 97

やあ!

TIA news

やあ!特集

とちぎインターナショナル

フェスティバル2006

ようこそとちぎへ

県国際交流員

マリ・コバヤシ・ウイリアムズさん

平成18年度海外技術研修員

世界をペロリ

タイレストラン&タイストア ミナトング

心に残る私の写真

フランス 荒川 徹さん

国際理解への扉

「JICA教師海外研修

～学んだこと、そして伝えたいこと～

世界のスイーツ

SWEETS

～カンボジア編～



カンボジアといえば、アンコール・ワット。そのアンコール・ワットをかたどったクッキーがカンボジアで売られている。クッキーにはやはりティーだろう。でも、カンボジアでは、紅茶よりハス茶がポピュラー。日本で日本茶を飲むような感覚なのだろうか。

マリ コバヤシ ウィリアムズさん (23歳)
Mari Kobayashi Williams



プロフィール

栃木県はアメリカ・インディアナ州と姉妹都市。アメリカの国際交流員として8月より着任。家族は、両親と妹。現在、オハイオ州ハドソン市在住。

—初めまして。日本はどんな印象ですか？

マリ 実は私、今回、日本が初めてではないんですよ。というのも父が、空軍に勤務していたので、幼少のころ、父の仕事の関係で、青森の三沢のほうに住んでたんです。だから、アメリカのほうが短いかも知れないです(笑)。父が韓国のほうに行っていて不在の間は、母が日本人ということもあって、家庭では日本語だけの生活をしていました。

—そうなんですか。道理で日本語がお上手ですね。

マリ 大学はオハイオ州コロンバスにあるオハイオ州立大学だったんですが、祖父母が東京・三鷹に住んでいるということもあって、三鷹にあるICU「国際基督教大学」で日本語を勉強していました。小さいころの印象とはだいぶ違いましたね。そのころは東北の田舎に住んでましたから(笑)。大学のときに渋谷へ行って、びっくりしました。友人にいきなりコスプレの店に連れて行かれたもので…。大学時代には居酒屋でアルバイトして生の日本語を覚えましたよ。

—今回、栃木県へ来たわけですが、印象はいかがですか。マリ アメリカにいたときに、たまたまJETプログラムの募集を見て、申し込んだんです。私が前に栃木県と友好関係にあるインディアナ州のペルー市に住んでいたことがあったので、それが栃木県に選ばれたって感じでしょうか(笑)。栃木県は東京にも近いですが、自然が多いところだと思います。私は、宇都宮の中心部に住んでいるからかも知れませんが、とても便利な場所だと思います。東京と違って、近所の人々が引っ越してきてすぐに声をかけてくれたりして、やさしい人が多いところと感じました。今は、栃木県庁の国際交流課で仕事させてもらってるんですが、自分が抱いていた県庁のイメージと違ってびっくりしました。来て早々に、知事がアメリカに行かれるというので課の人たちから大量に仕事をお願いされて驚きましたが、以前、通訳したとき、栃木の郷土料理のしもつかれの写真を見せられて説明するときのほうが驚いてしまいました(笑)。



▲ご両親と妹さん

—マリさんがこれからしてみたいことはありますか。マリ ぜひやってみたいのは和太鼓です。それから卓球をやっていたことあるので、ぜひゲームしてみたいですね。あと、ALTの先生たちの中で、私が昔、感じたようなカルチャーショックを受けている人もいると思うので、そういう人たちを助けてあげたいと思っています。また、日本の文化をもっと学んでアメリカ文化の紹介もしたいです。

TIAトピックス

日光市

日本語を教えよう！ステップ1 & 日本語ボランティア情報交換会③

＜日光で日本語を教えよう！ステップ1＞

外国人支援の一環としてボランティアによる日本語教室の拡充を目指すため、日本語を教えるための入門、初級講座としてビギナーを対象に、今年度は日光市国際交流協会の協力を得て、日光市今市にある日光市生きがいセンターで、8月26日から10月14日までの毎週土曜日(計8回)に講座を実施した。



▲熱心に講義を受ける受講者たち

講師は、宇都宮大学の田中はるみ氏と石川美和氏で、熱心な受講者も多く、世界遺産のある日光市内での日本語熱にも拍車がかかっていきそうです。

＜日本語ボランティア情報交換会③＞

日本語ボランティアとしての活動の中で起こり得る、教え方、運営方法、学習者との付き合い方等の様々な疑問や問題点などの話し合いを通じて、県内で活躍するボランティアが直接知り合いとなり、情報交換のできる場を提供する目的で開催している。



▲問題点などについての発表

今回で3回目となり、とちぎ国際交流センターを会場として9月10日(日)に開催した。日本語教室の課題事例発表は「一步一步日本語」というボランティアグループの渡辺玲さんからの先生の数が少ない等の問題点や体験談の発表の後、県内の大学で教鞭をとられている金子正子氏から日本語教授法や今後のボランティア活動のひろがりについてということで講義が行われた。和気藹々とした雰囲気の中で、受講者たちは活発な意見交換を行い、今後の活動に生かせる場となったようだ。

平成18年度の栃木県海外技術研修員6名が9月6日・7日に来県しました。研修員は日本語研修を修了し、現在各研修機関で専門研修をしています。来年3月中旬に帰国予定です。

- ①氏名 ②性別 ③国籍 ④年齢 ⑤推薦機関 ⑥研修科目
⑦研修機関

栃木県海外技術研修員



- ①ハイメ ドメニコ ロペス フローレス
Jaime Doménico López Flores
②男 ③ボリビア共和国
④29歳 ⑤JICA ⑥地域医療
⑦自治医科大学



- ①サンナン キム Samnang Kim
②男 ③カンボジア王国
④26歳 ⑤JICA ⑥遺跡保護
⑦栃木県埋蔵文化財センター



- ①砂田 タイス 留美 Thaís Lumi Sunada
②女 ③ブラジル連邦共和国
④24歳 ⑤在伯栃木県人会
⑥口腔外科 ⑦自治医科大学



◀日本語の先生と。



- ①阮 美穎 Ruan Mei Ying
②女 ③中華人民共和国
④29歳 ⑤浙江省
⑥野菜栽培・育種
⑦栃木県農業試験場



- ①顧 幼静 Gu You Jing
②女 ③中華人民共和国
④27歳 ⑤浙江省 ⑥博物館学
⑦栃木県立博物館



- ①郭 琴 Guo Qin
②女 ③中華人民共和国
④27歳 ⑤浙江省 ⑥観光交流
⑦株式会社JTB関東宇都宮支店

あんな店 こんな店

タイレストラン&タイストア ミナトング

これから寒くなると鍋料理のおいしい季節ですが、そんな季節にもってこいのリーズナブルなレストランを紹介しましょう。今回、ご紹介するのはタイ人たちにも定評なタイレストラン「ミナトング」です。実はこの店、今年の6/2に新装オープンしたのですが、レストランのほか、タイの食材も扱ったショップも経営してるのです。しかもここで売られているタイ野菜は全て高根沢にあるオーナー横山さんの畑で作っているそうですが、実際に作っているのは日本語も流暢なタイ出身のオーナー夫人。以前は、東京や茨城など県外にも出荷していたそうですが、今はこのショップで売的分だけを作って販売しているのだそうです。営業時間は24時間とと



▲オーナーの横山さん一家

ても現代人の生活にあったいわば、タイ式コンビニエンスストアとでもいえるお店です。

ひとたび店内に入ると、タイに来たかのようなトロピカルムードたっぷりのデコレーションと雰囲気が私たちを迎えてくれ、奥には、



▲人気のタイすきセット



▲トロピカルムードの店内



▲タイ商品のあふれるショップ

カラオケもできる個室もあります。まさしく微笑みの国タイという感じのオーナー夫妻の優しい笑顔も私たちを和ませてくれる、癒しの空間です。

ランチメニューもあり、11:30~14:30までで、一律900円。全てにタイジュースかタイフルーツ付。簡単に紹介すると、AタイカレーとサラダBタイチャーハン、サラダC豚挽き肉炒め目玉焼きのせごはん、タイラーメン、サラダの3種類。ビジネスマンのお客さんも多いとか。

夜は、これからの時期にもってこいのタイすき焼き1セット3,000円、パッタイ(タイ風やきそば)1,000円(大盛り2,000円)、トムヤムクン1,500円、タイビール各種500円。メニューにないものも作ってくれる。また、12月からはタイ式マッサージも始める予定とのこと。宴会も10人以上なら食べ放題、飲み放題で一人5,000円。ぜひ一度訪れてみては。



タイレストラン&タイストア ミナトング

住所：宇都宮市宿郷1-14-6 TEL：028-635-3319

とちぎインターナショナル フェスティバル2006



10月7日(土)、栃木県子ども総合科学館で、毎年恒例の「とちぎインターナショナルフェスティバル2006」を開催しました。今年は前日の台風接近の悪天候で開催が心配されましたが、当日は晴天になり、3,300人ももの来場者数と大盛況でした。また、ご協力いただいた国際交流・国際協力団体の皆さま、本当にお疲れ様でした。



▲見事な子どもたちのバイオリンの演奏

ステージプログラム



▲服装も楽器もアンデスそのもの



▲西アフリカの音楽にアフリカ人もダンシング



▲子どもたちのかわいいヒップホップダンス



▲みんなでインドネシアの踊りを楽しんだ



▲タンザニアの音楽に大使も知事も踊りだし大盛況



▲ベリーダンスでビッグパラソルは超満員に



▲モンゴルの衣装が着れるブースも。



▲親子でアクティビティーに参加



▲臨時「中国語講座」も開催



▲インドネシアの楽器、ポロロン…ポロロン…



▲たくさんの方でにぎわう会場



▲フィリピンのPRも～



▲地雷に気をつけて!!



▲外国の方もお国の衣装でご来場くださいました。



▲着物で参加! 茶道教室



▲表彰式おめでとう!! 外務大臣賞受賞者も出ました。
(詳細は最終ページ)



▲タンザニア大使館も出店

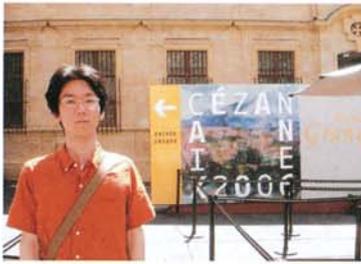


▲素敵なフラワーアレンジメント

主催 財団法人栃木県国際交流協会

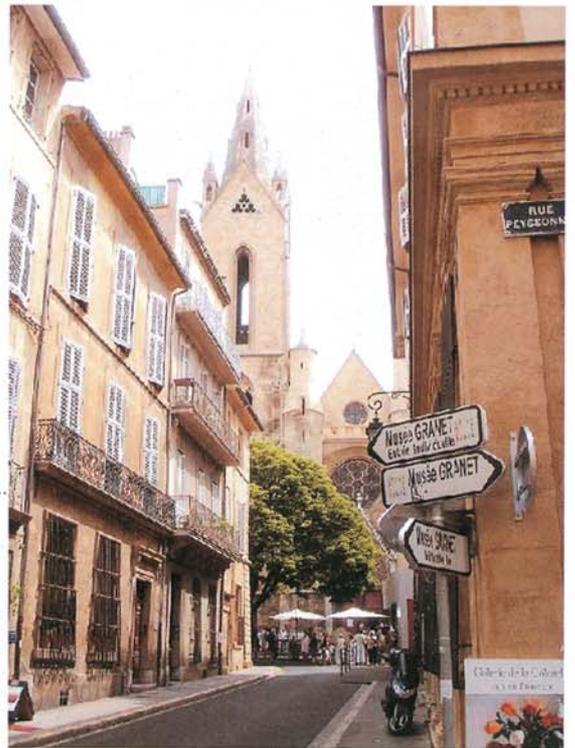
後援 栃木県、栃木県教育委員会、独立行政法人国際協力機構 (JICA) 広尾センター、財団法人あしぎん国際交流財団、財団法人とちぎ青少年子ども財団、下野新聞社、栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ

協力 アジアの問題を考える会、アムネスティインターナショナル宇都宮グループ、あわのフラワーFC、いっくら国際文化交流会、一步一步日本語、宇都宮SGGクラブ、宇都宮ユネスコ協会、大平町日中友好協会、開発教育ネットワーク、カンボジアっ子支援の会、喜連川日中友好協会、グローバルグループ、けんちんの会、交流会「仲間」、国際ソロブチミスト宇都宮、SADIHA BELLY DANCE、ジャパン・アエタ・フレンドシップ協会、シャプラニールとちぎ架け橋の会、ジェンペアンサンブルNANKAMA、終美会、スズキメソード宇都宮支部、世界平和女性連合栃木県本部、タンザニア連合共和国大使館、中国留学生有志、対馬晴山会、栃木インドネシア友好協会、栃木県海外移住家族会、栃木県青年海外協力隊OB会、栃木県台湾友好会、栃木県日・韓女性親善協会、勳とちぎYMCA、栃木タイムズ、栃木県ベタンク協会、日本中国友好協会宇都宮支部、ヒップファミリークラブ栃木、ブラチナインターナショナルスクール、リサイクル運動友の会、ロスコンパニエロス、日本国連協会栃木県本部



▲グラネ美術館展示会場前の荒川さん

今回、写真を提供してくれたのは、下野市出身の荒川徹さん。現在、大学院で美術を研究している荒川さんは、昨年、卒論のテーマにした「セザンヌ」の展覧会が開かれるということで、今年、フランスのクス・アン・プロヴァンスを訪ねたそうです。そのとき心に残った写真を提供していただきました。



セザンヌ一色に染まる クス・アン・プロヴァンス

クス・アン・プロヴァンスのグラネ美術館で開かれた「プロヴァンスのセザンヌ」展は、近代絵画の父と呼ばれる画家、ポール・セザンヌの没後100周年を記念したものです。描く場所を移動しながら、スタイルが劇的に変わっていくその風景画は、同じひとりの画家が描いたとは思えないほどでした。



絵のような館

一方で展覧会の外では、セザンヌが描いた実際の風景が公開されています。写真のジャ・ド・ブッフアンは、1899年までセザンヌ一家が暮らした別荘で、多くの絵が描かれました。歴史あるその館は、今でも当時の面影を残しています。プラタナスの大木が立ち並ぶその公園はとても生き生きとしていて、迫力がありました。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。(☎028-621-0777)

TIAトピックス

「わいわい地球っ子クラブ」 ～にこにこ★タイランド～



小学生の国際理解を目的としたわいわい地球っ子クラブが9月9日(土)にとちぎ国際交流センターで開催された。今回のテーマはタイ。タイ・バンコク出身のウイワタナウエット・ピヤナンさんをゲストとし、29名のクラブ会員が参加した。

タイのことを知ろうでは、民族衣装を着たピヤナンさんから民族衣装の着方や、簡単なタイ語のあいさつを教えてもらった後、タイの子どもの遊び(ゴムとばし、棒取り)を実際に遊んだりしたり、わいわい恒例の工作の時間では、エコクラフトを使ったタイの金魚モビールを作って、楽しい時間を過ごした。



「わいわいバスツアー2006」

8月23日(水)に小学生対象の「わいわい地球っ子クラブ」と高校生対象の「クラブリセ」の会員が合同で東京・渋谷区にある「JICA地球ひろば」を訪問するバスツアーを行った。

向かう途中のバスの中では、国際理解クイズなどアクティビティを行ったり、訪問先の地球ひろばでは、現地カンボジアで実際に活動しているの青年海外協力隊の隊員とテレビ電話で交信し、カンボジアの公用語であるクメール語での数の数え方や歌を覚えてもらったりして楽しんだ。また、わいわい新聞を実際に、子どもたちに作ってもらったり、海外で現在活動している栃木県出身の青年海外協力隊員へ手紙を書いたりした。



JICA教師海外研修～学んだこと、そして伝えたいこと～

JICAでは毎年、夏休みに小・中・高校の先生を対象に途上国の実情を知っていただき、授業に役立てていただく11日間の海外研修を行っています。今年度は8月1日～11日まで、栃木、群馬、新潟の先生方と12名でカンボジアを訪ね、現地の先生方との意見交換・交流、青年海外協力隊やNGOの活動現場の視察など様々な視察や体験をしたので、その感想とこれからの思いを語ってもらいました。

●平塚昭仁教諭（上三川町立上三川小学校）

ごみ山で働く子ども、土色の湖でたらいに乗って1ダラーをせがむ子ども。市場やレストランで働く小学生らしき少女、裸足でサッカーをする少年。カンボジアには生きる力があふれていました。彼らの願いは一つ。「学校に行きたい。」「勉強をしたい。」貧困のカンボジアの子どもたちが幸福なのか、裕福な日本の子どもたちが幸福なのか子どもたちとともに考えていきたいと思えます。

●岡直美教諭（二宮町立物部中学校）



▲ゴミ山に暮らす子どもたち

想像を絶する過酷な戦禍と
 その中で生きる人々を目の当たりにして「生きる」とは何かを自己に問い直す尊い旅でした。深く傷つきながら未来へ向けて歩き始めたカンボジア。現場を通して、この経験が多少でも生徒たちの心を振るわせることができたらと願っています。

●バーマン見子教諭（宇都宮市立豊郷中央小学校）

どこで考えるにも内戦という歴史が、ついてまわりました。まだ、歴史にならない部分があるにもかかわらず前進しているカンボジアに強さを感じました。研修ではカンボジアの人々やカンボジアを支援する人々とたくさん交流することができ、多くの感銘を受けました。子どもたちがカンボジアを知ることで視野を広げ、自分自身を見つめなおすきっかけになればと思っています。



◀リヤカーに乗って農村へ

●海老沼美江教諭（宇都宮市立陽東小学校）

壮絶な内戦を経て立ち上がろうとしているカンボジア。祖国を再創造しようとするエネルギーがいたるところから伝わってきました。そのひたむきな姿と人々の笑顔から「豊かさ」は決してその国の経済力と比例するものではないということを考えさせられました。日本の子どもたちカンボジアの子どもたち、未来を夢見る子どもたちの笑顔は同じです。ともに「豊か」に育つよう教育現場で、教師としてできることを模索していきたいと思えます。☆参加された先生方の報告会を開催いたします。詳しくは折込みをご参照ください。

(JICA栃木デスク松島愛実)

国際理解への扉 道の〜越前国

今回のテーマ…世界に笑顔の種をまこう！

JICAボランティア18年度1次隊後期組が10月初旬に任国へ出発しました。今回出発したのは、青年海外協力隊（JOCV）2名とシニア海外ボランティア（SV）2名の合計4名です。2006年10月18日現在、栃木県出身JICAボランティアは派遣中43名、累計456名となりました。



●日野君香 JOCV（ガーナ、手工芸）

ガーナの人たちに、手工芸の楽しさが伝わったら嬉しいです。自分も楽しんで来ようと思えます。

●熊谷 翠 JOCV（セネガル、村落開発普及員）

セネガルに暮らす一人一人の可能性を信じて、彼らの力を最大限に活かせる場をたくさん作ってきます。

●藤井常義 SV（タイ、包装）

タイの一村一品運動製品の包装品質の改善に協力するためがんばってきます。

●佐原市郎 SV（シリア 経営管理）

あわてず、あせらず、あきらめずに目標を確実にやり遂げたいです。

☆ボランティアのみなさんいってらっしゃい。自信なんてない、でも何かしたい！その思いから始まる物語があります。自分を待っている世界がある。不安よりもやりがい。その喜びがあります。あなたも世界に笑顔の種をまいてみませんか？

●お知らせ JICA地球ひろばHPがリニューアル

<http://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

JICA栃木デスク：松島愛実

第82回定期演奏会

栃木県交響楽団

2007年2月4日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール



〈指揮〉
末廣 誠

〈演奏曲目〉

- チャイコフスキー
交響曲第6番「悲愴」
- ラフマニノフ
ピアノ協奏曲第2番
- ムソルグスキー
禿げ山の一夜



〈ソリスト〉ピアノ
須藤 梨菜

全自由席 ¥1,500円(前売1,200円) 電子チケットぴあ
お問い合わせ 栃響事務局 ☎028-643-5288

とちぎTV

とちテレデジタルのうた

作・いまいま

作・つねさけ



ひろが〜る ひろげ〜る デジタ〜ル



とちぎテレビのデジタルリモコン番号は3チャンネルです。

2006年12月1日

とちテレ矢板中継局地上デジタル放送スタート!

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

● Club lycée

参加者からのアイデア大歓迎!
国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

年会費 無料

小学3～6年生のための

● わいわい地球っこクラブ

同じ地球で生活する仲間として、
一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、外国人との交流など

活動日 6・9・12・3月の第2土曜日

年会費 1,000円

お問合せ (財)栃木県国際交流協会
☎028-621-0777

賛助会員募集 !!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典: ●TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供。
●TIAニュース「やあ!」を年4回送付。
●会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引
●テレビ方式変換(海外⇄日本)の無料サービス
●団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)。

年会費:個人 3,000円
団体 10,000円
法人 30,000円

第46回「国際理解・協力のための中学生作文コンテスト」全国大会で受賞!

栃木県大会で優秀作品として選ばれた2作品が、全国大会でも特賞、佳作をそれぞれ受賞しました。

その結果は下記の通りです。

●特賞 外務大臣賞

那須塩原市立厚崎中学校3年
天和 仁彦
「地球に平和が訪れる日を目指して」

●佳作

宇都宮短期大学付属中学校1年
田崎 円
「国連改革、もしも私が国連職員なら」

なお、外務大臣賞(副賞はニューヨーク国連本部視察)を受賞した天和さんの作品はTIAのホームページならびに、折込みチラシに掲載いたします。

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます～

■ 相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が応対

■ 機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■ 各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■ TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■ とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。
*とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

新規賛助会員のご紹介

個人:栗原 敏子様
～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

〈編集後記〉

今回、取材で訪れたタイレストランは、ハードでした。ママおすすめの赤貝のサラダはかなり辛いものでした。タイの方は毎日、このような激辛を食べてるからやせるのかな?

ツーリストのギフトカード **Bway**
500円券
1,000円券
5,000円券



お申込みは **50th Anniversary** 近畿日本ツーリスト
カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし
<http://www.knt.co.jp/>

国土交通大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員
宇都宮支店 ☎028-633-2141

〒320-0801 宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F) 営業時間/月~日 10:00~18:00(休業日・祝日)

TIAのご案内



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日